

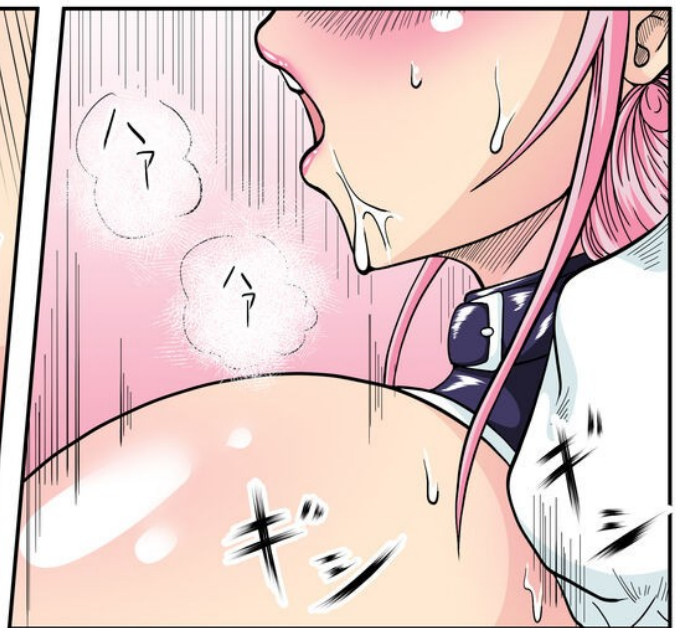
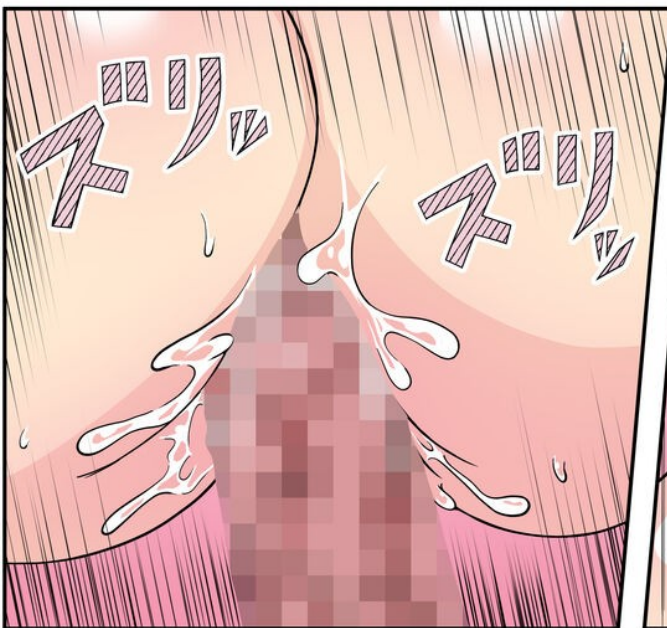
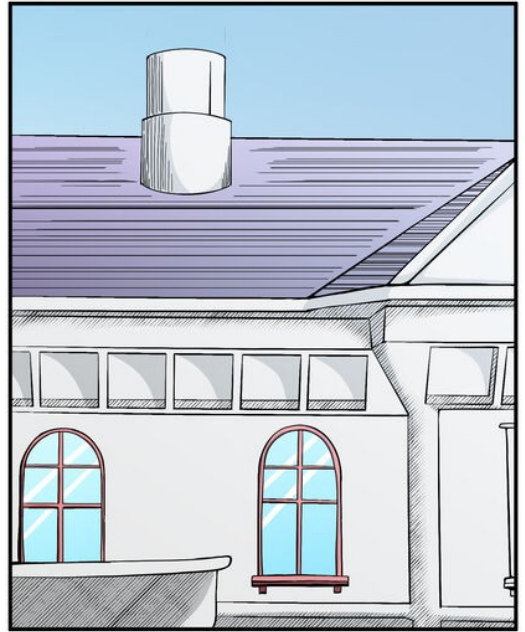
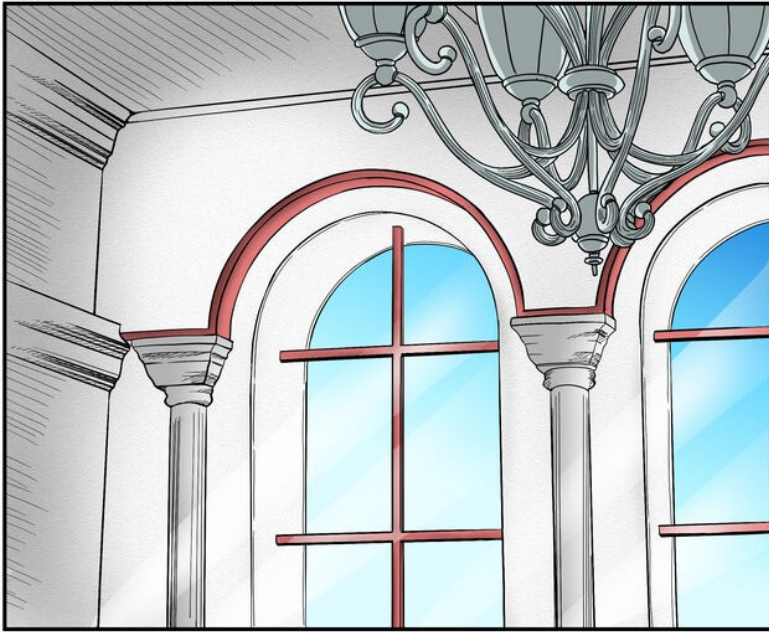
淫乳メイド

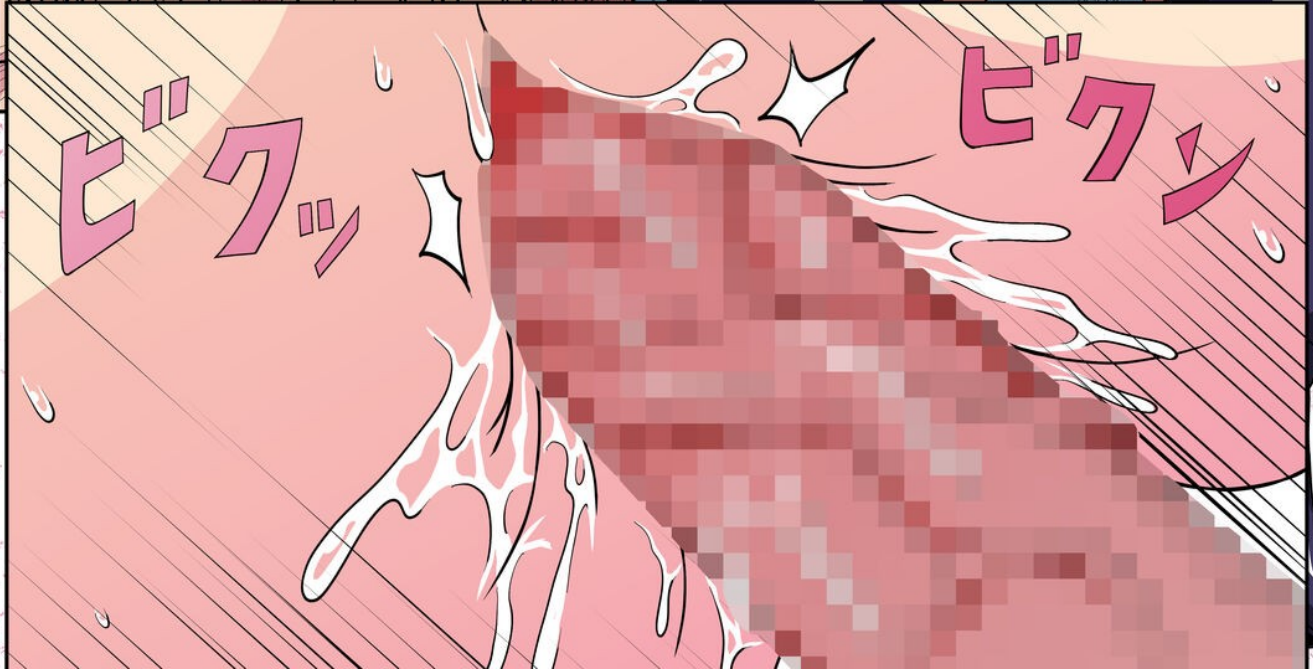
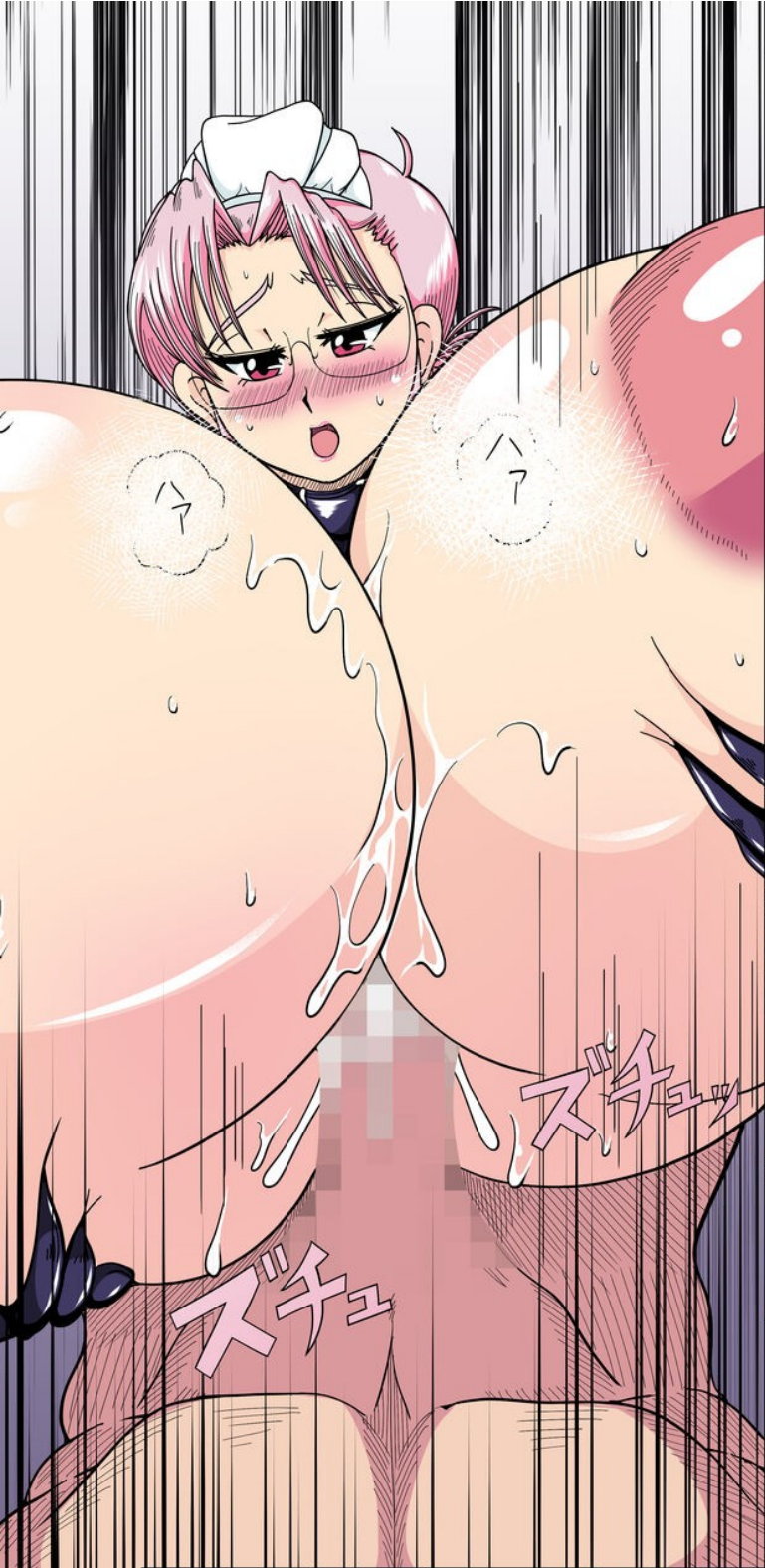
三丁織

—とあるメイドの日常—



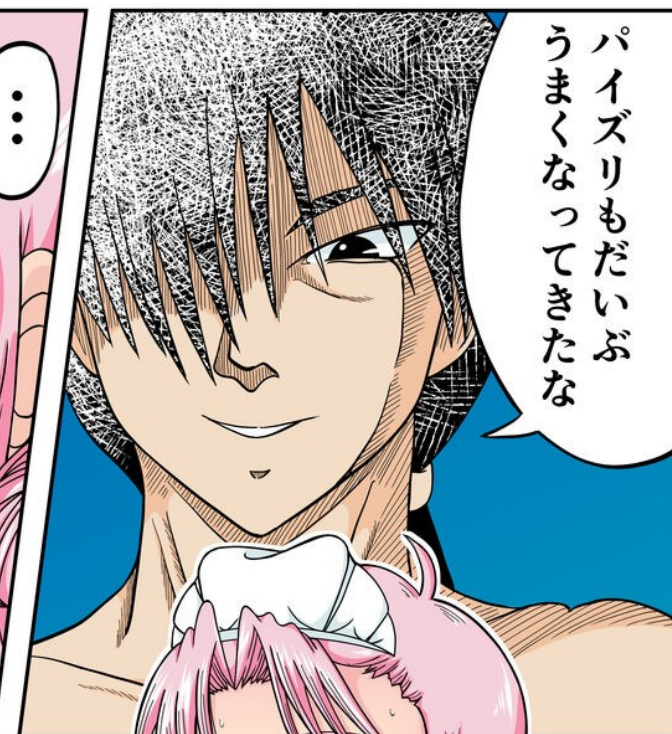








パイズリもだいぶ
うまくなってきたな

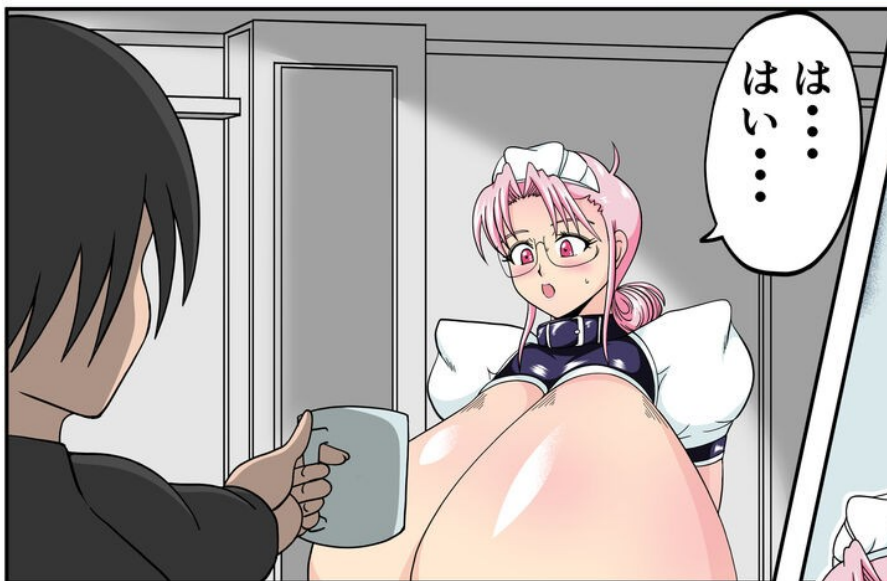


ありがとうございます
ございます…



私の淫乳メイドとしての
一日はご主人様への
パイズリ奉仕から始まります









朝食の後
私は御主人様に
あるお願いをします

御主人様……
あの……

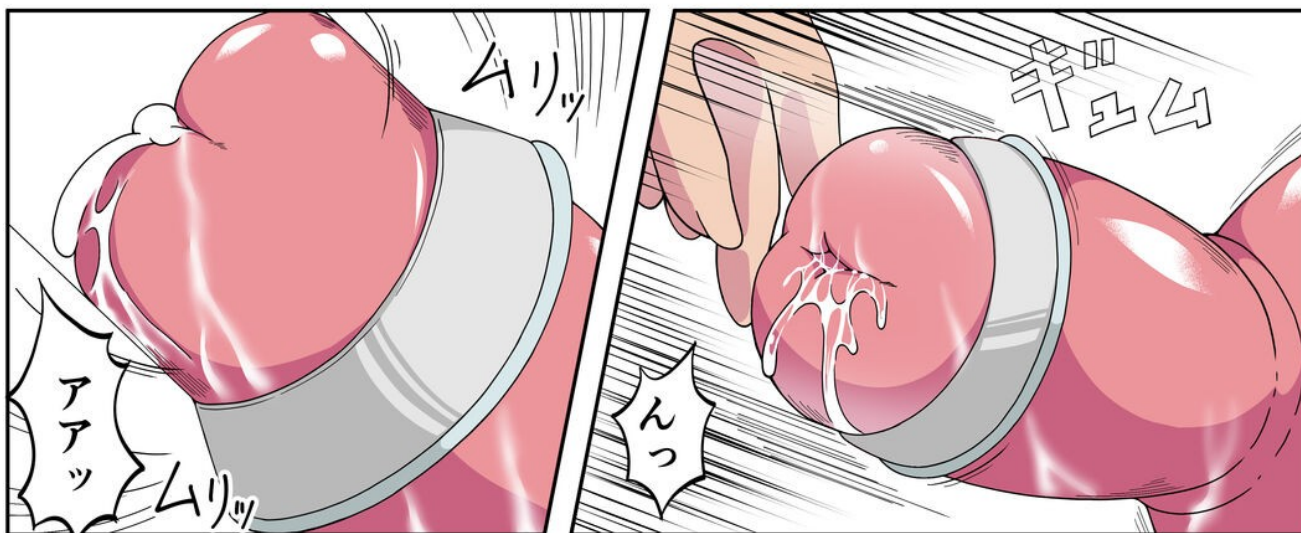
ああ……
いつものやつだな？

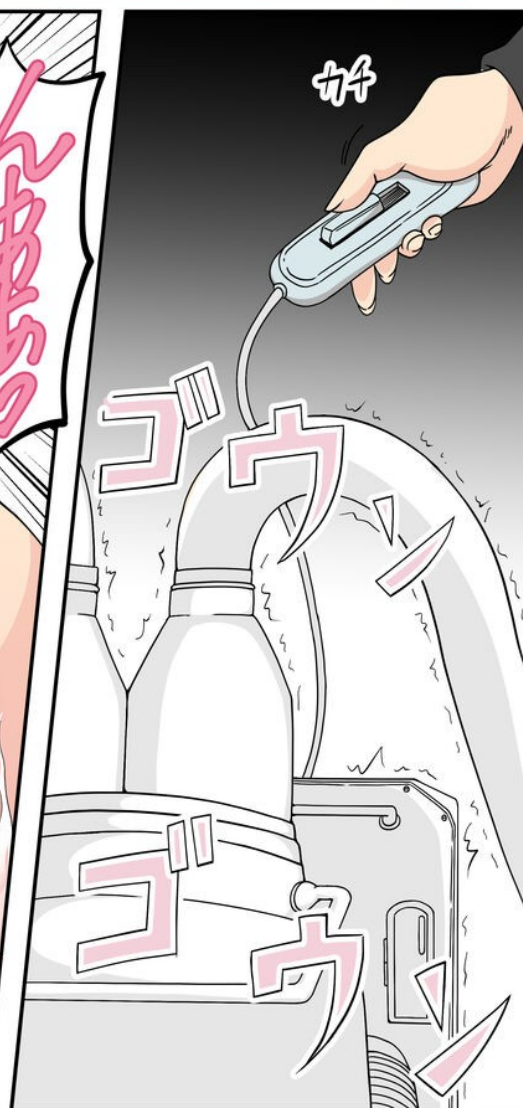
……
はい……

溜まった母乳で
はち切れそうになった
私の乳房は……

毎朝、搾乳機で
搾り取ってもらわないと
日常生活に
支障をきたすほどでした

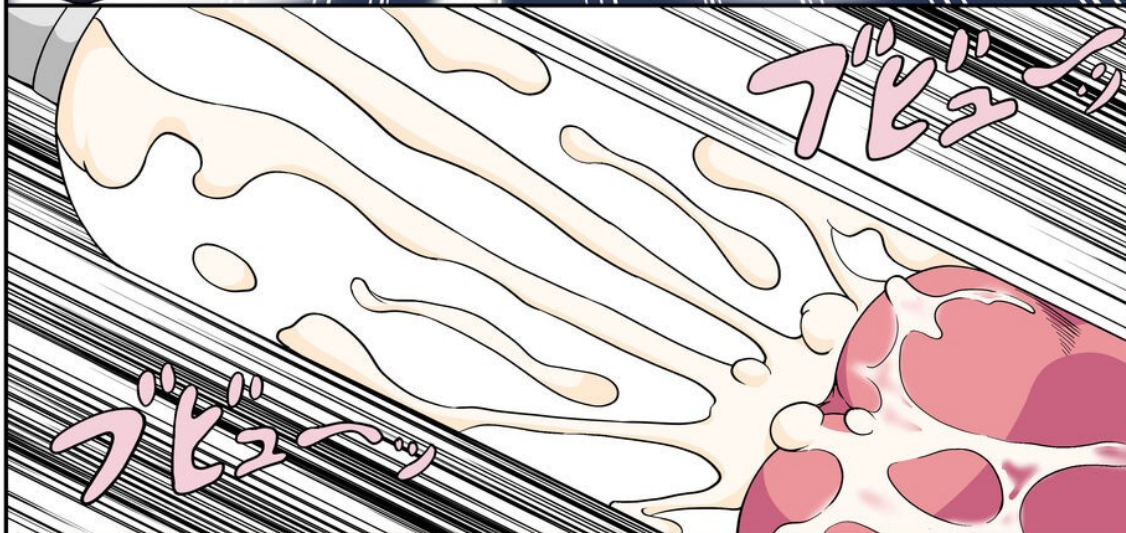








これが私の
毎朝のルーティーンです
...





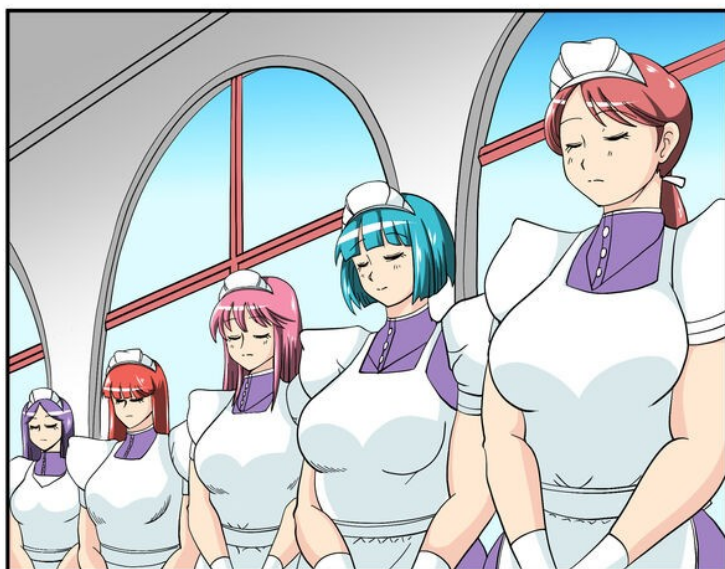


私の乳首には
母乳が漏れないように
栓がされ...

乳房を支えるための
ハーネスを装着されます

これが
私の正装なのです

お屋敷には私の他にも
たくさんの方がいます



その中には私のように
御主人様たちの
趣味嗜好に合わせ
肉体改造された
専属メイドたちもいます





その中でも私は
かなり目立つ存在で…

常に好奇の目に
晒されました

こんな身体のため
通常の仕事も
人一倍苦労します



あちこちに胸がこすれ
その度に身体が敏感に
反応してしまうのです



ほんの少し
動くだけで…

ブルン！

バブルン！

身体のあちこちが
無様に揺れ動くのです

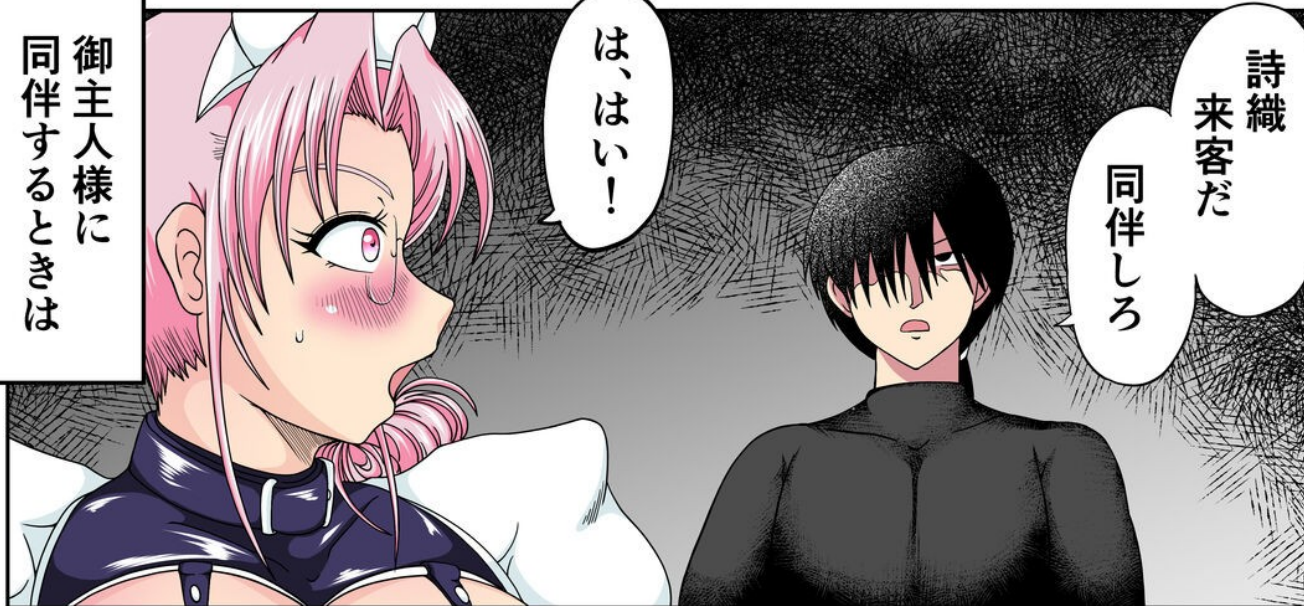


詩織
来客だ

同伴しろ

は、はい！

御主人様に
同伴するときは



よし
こっちへ来い

私はリードを
付けられ……

犬のように
四つん這いで
歩かねばなりません

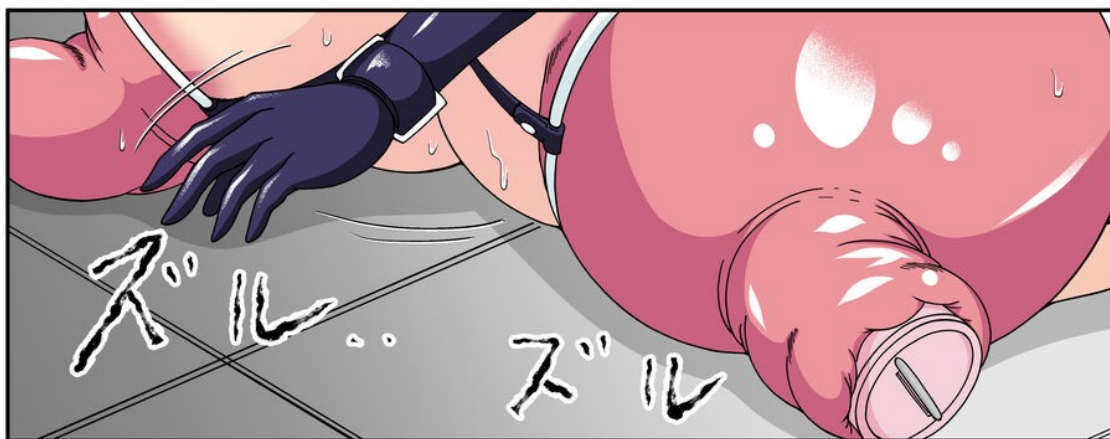


四つん這いで
這いずると

床に乳首が
擦り付けられ……



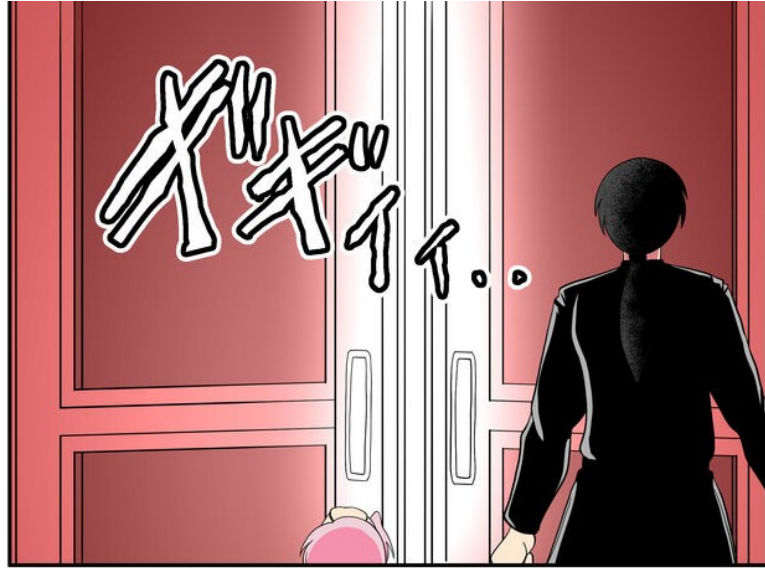
前に進むたびに
私は感じて
しまうのです



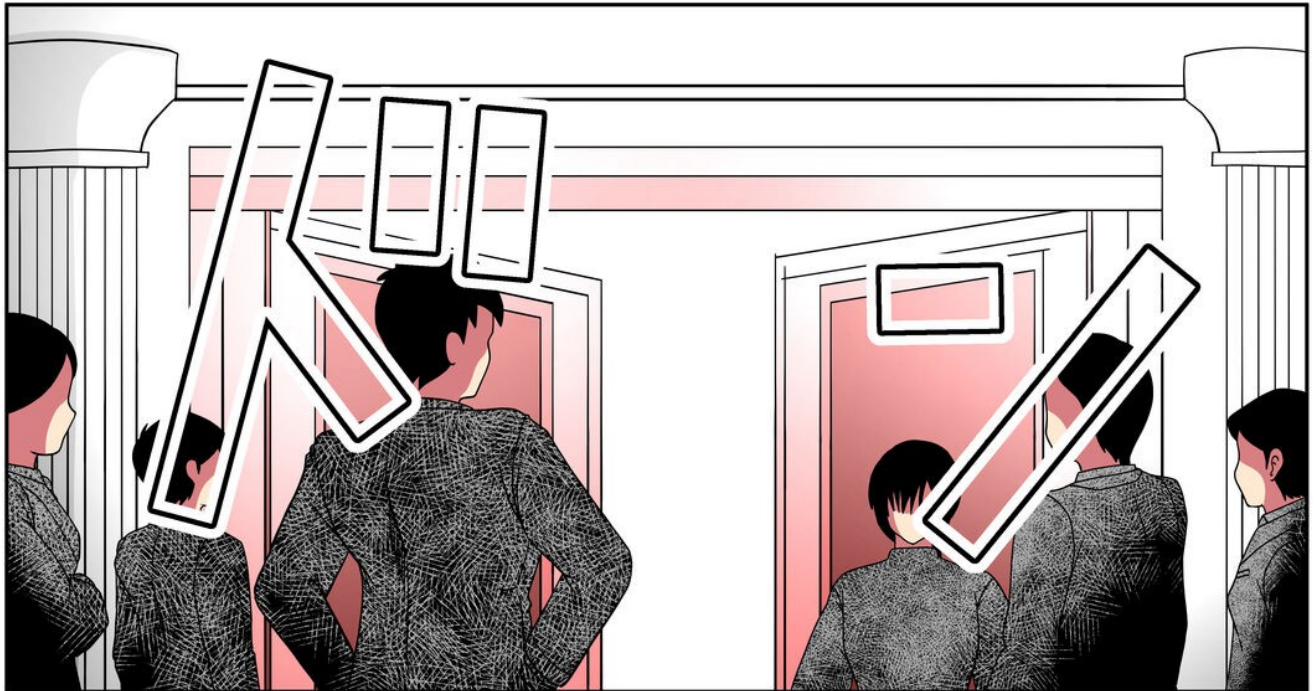
もし乳首を塞ぐ
プラグがなければ
私は……

大量の母乳で
この床を汚して
いたことでしょう

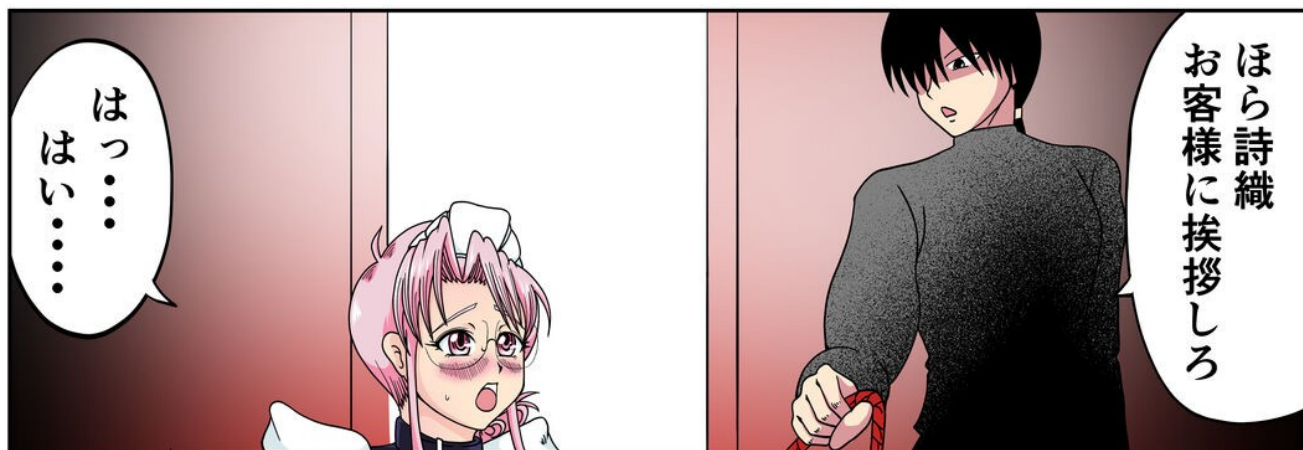




来賓室につくと



そこにはたくさんの
お客様がいらっしゃいました

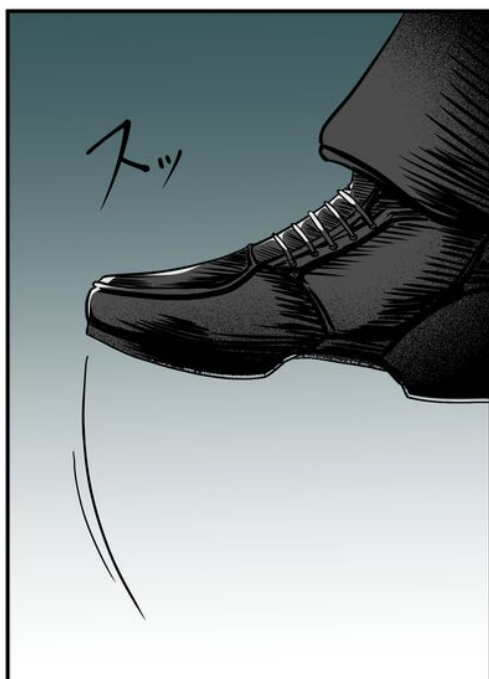
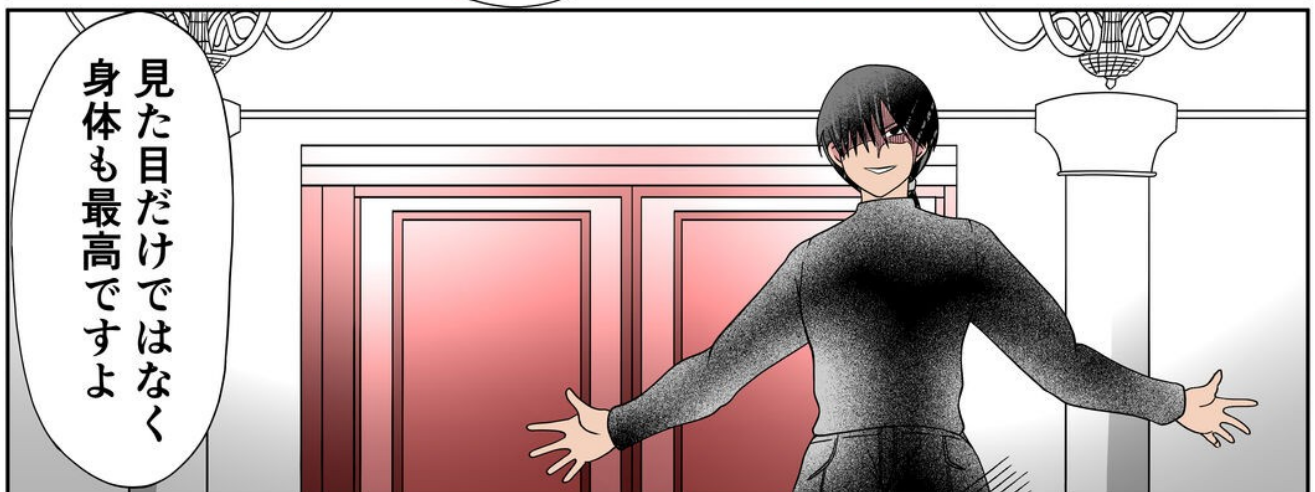
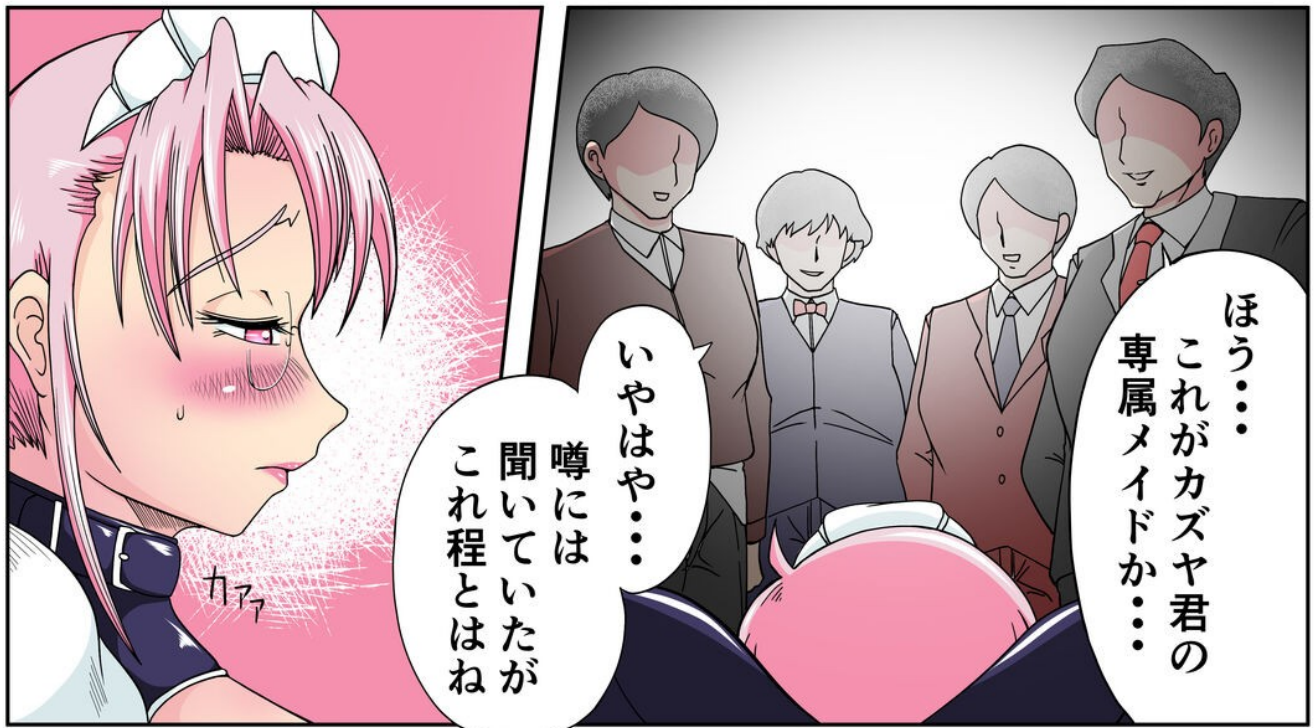


ほら詩織
お客様に挨拶しろ

はっ…
はい…

本日は
鬼陸邸へ
お越しいただき
ありがとうございます

わたくし
淫乳メイドの
詩織と申します





乳なんかはね!

んあぁあ

ダ

00

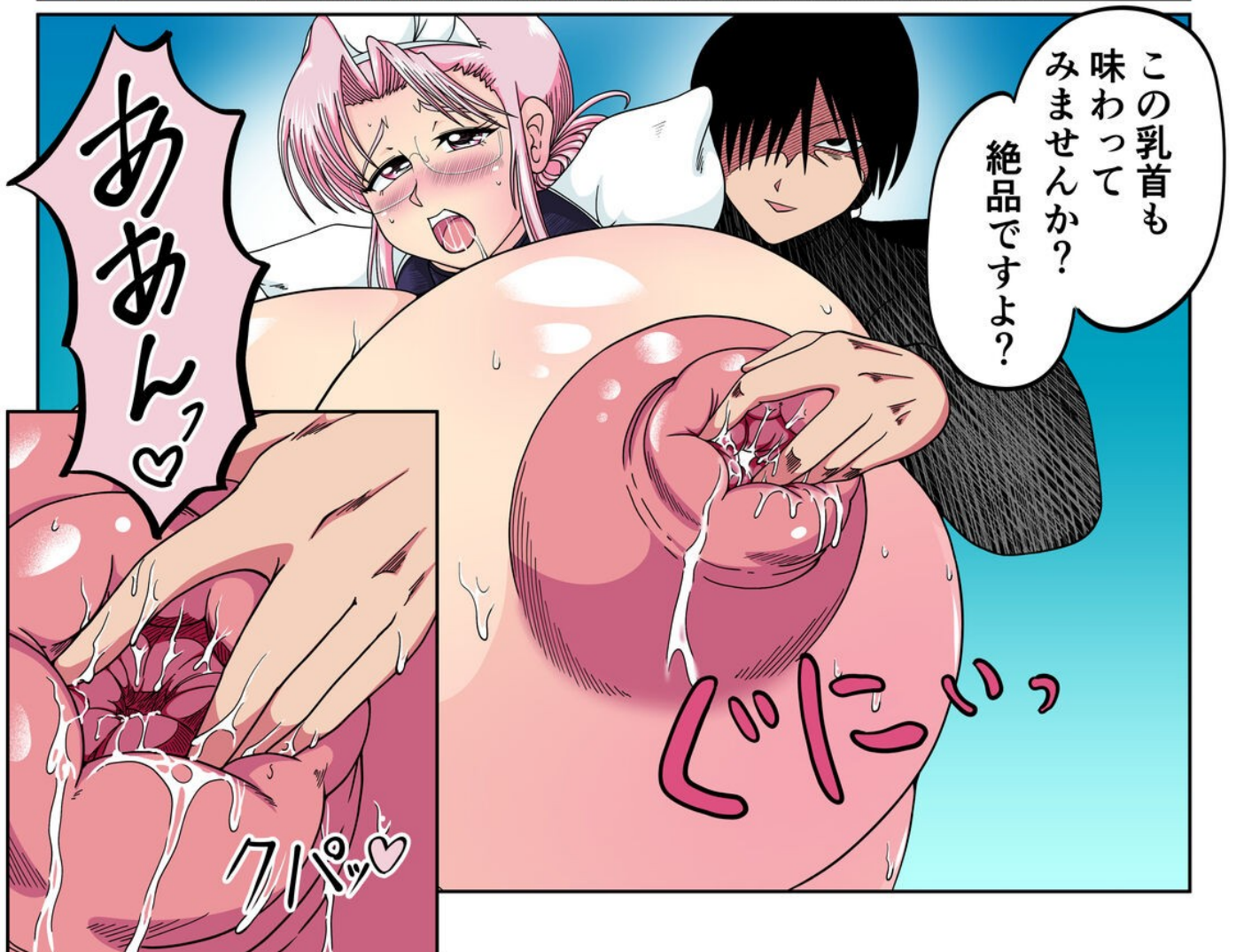
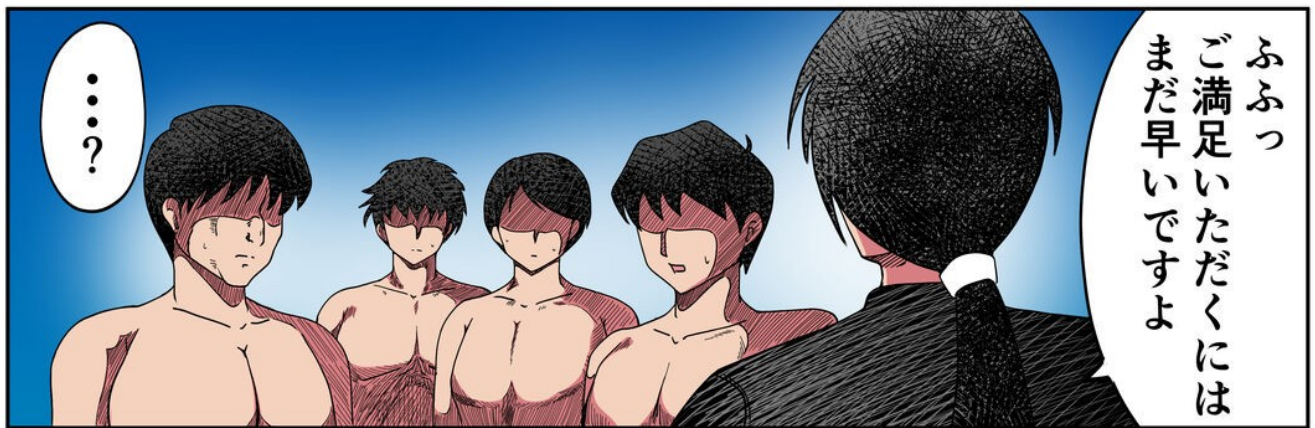
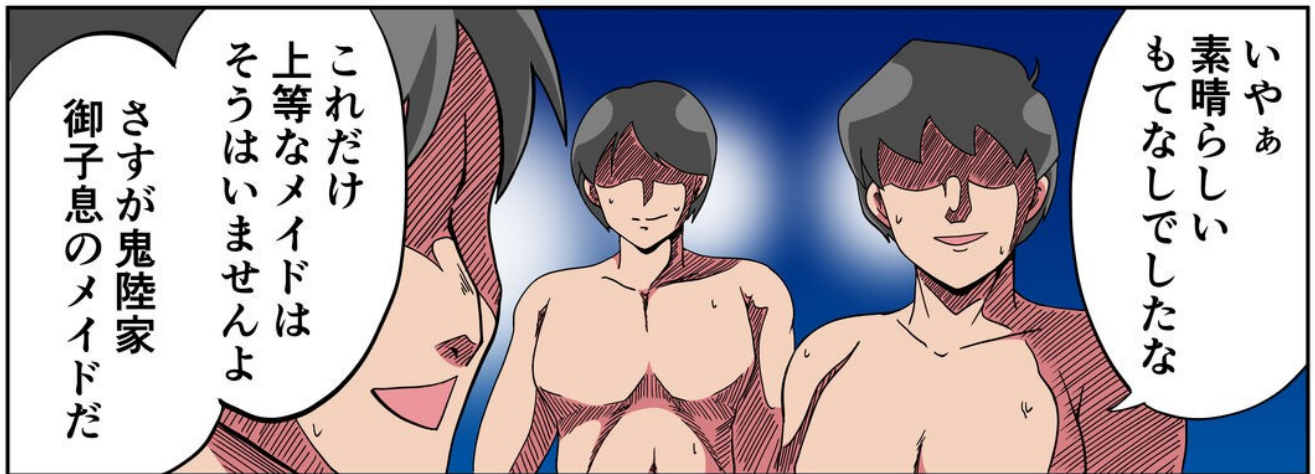
00

000

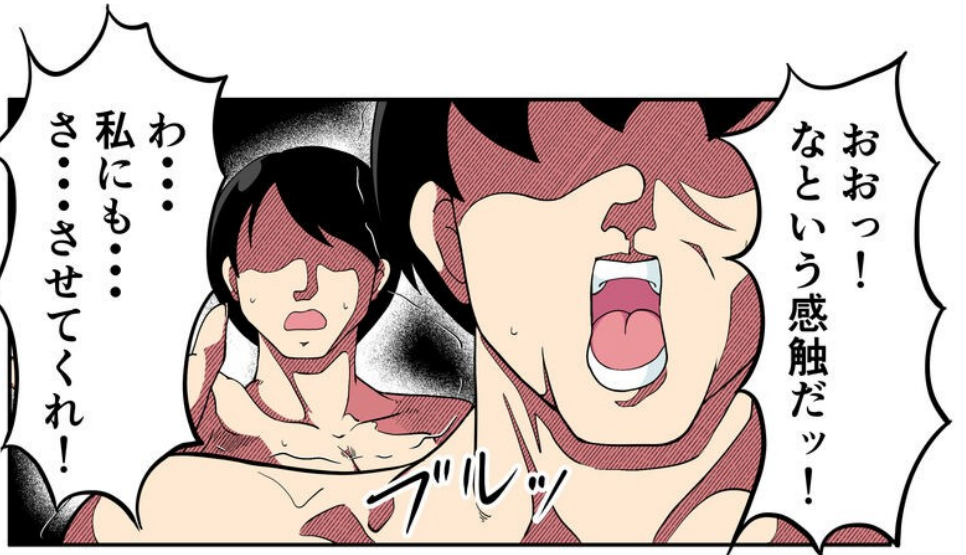




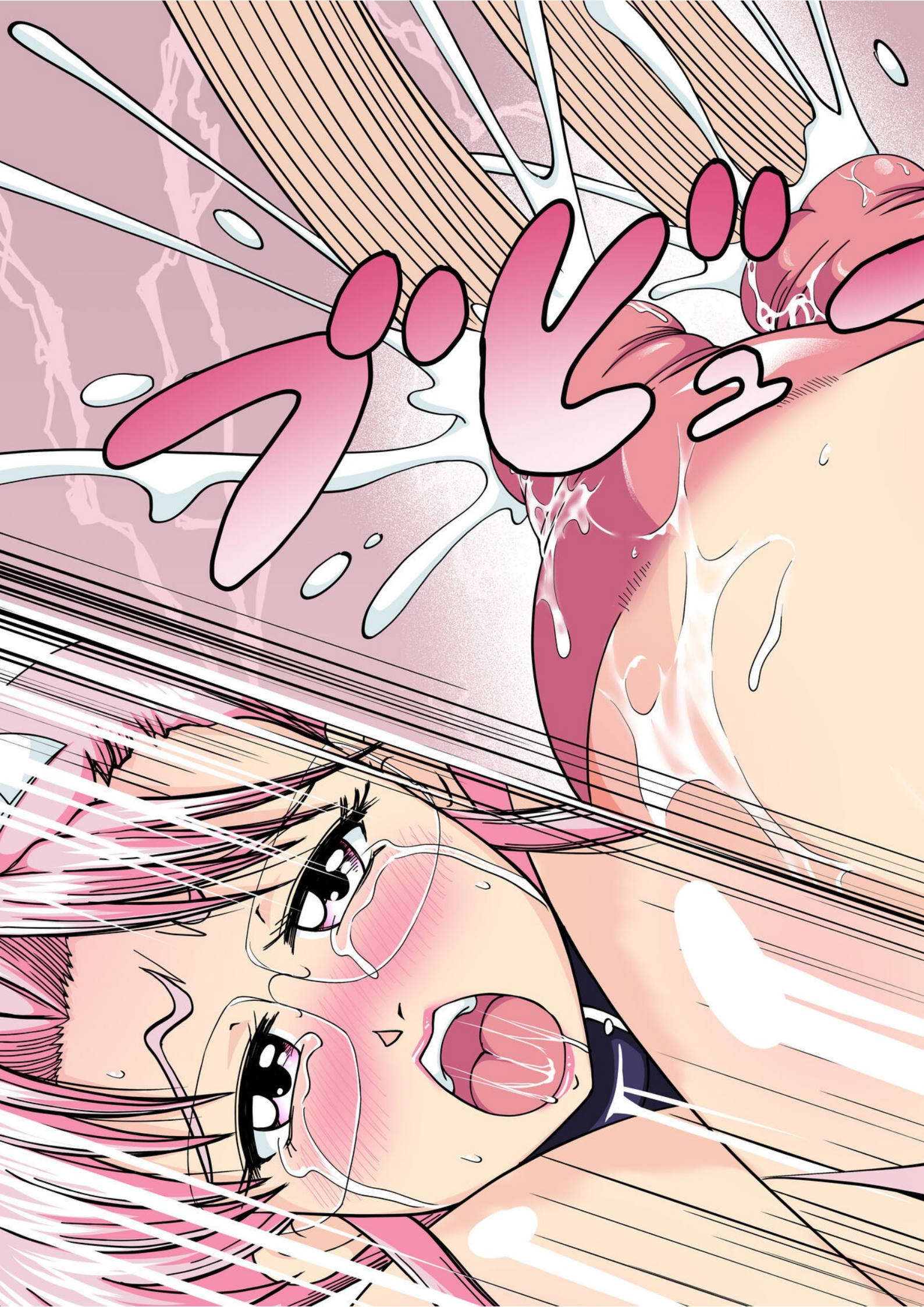


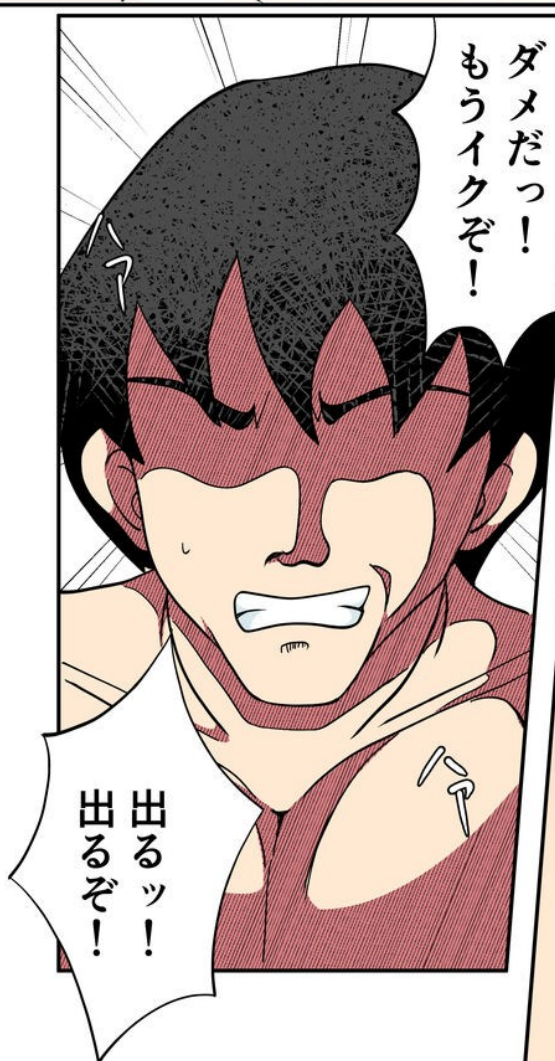












ダメだっ!
もうイクぞ!



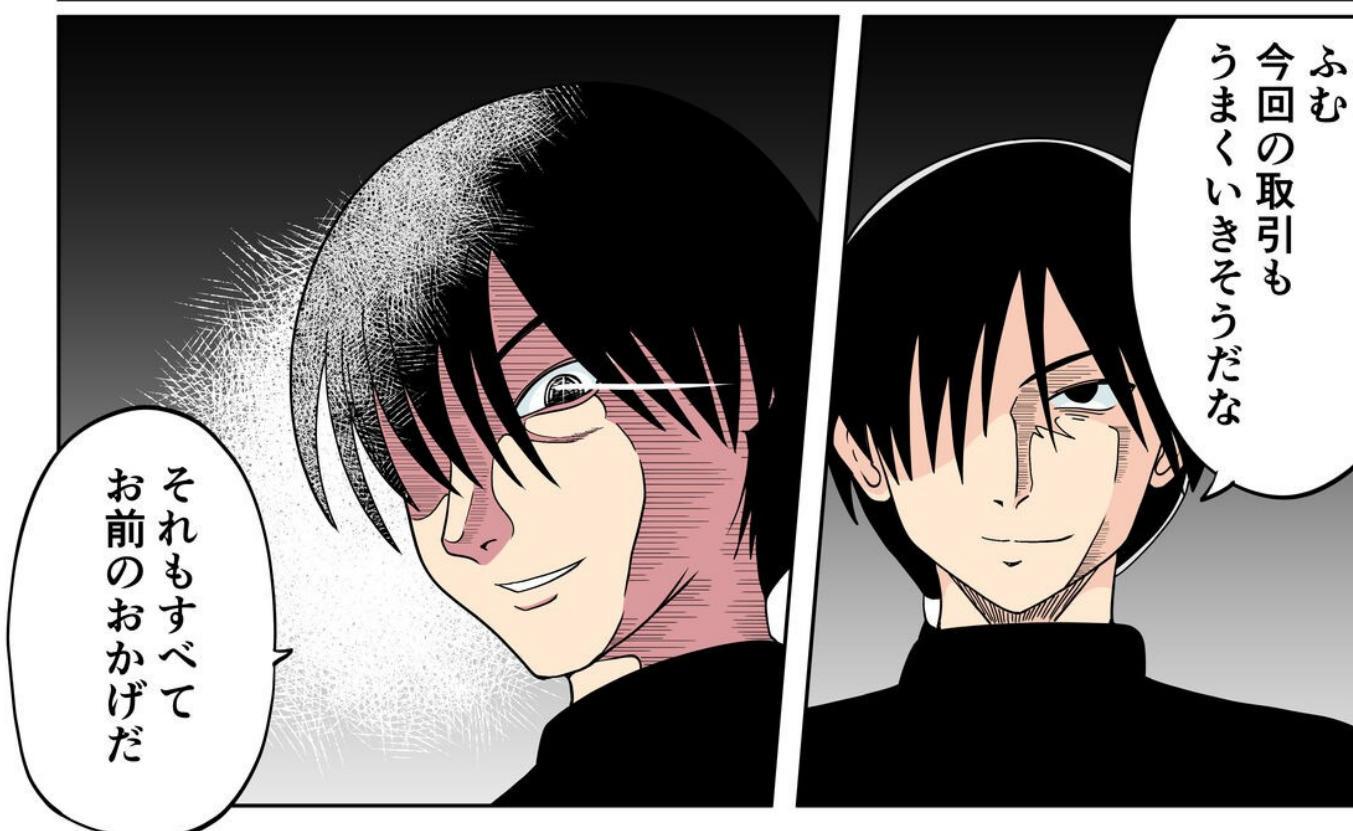
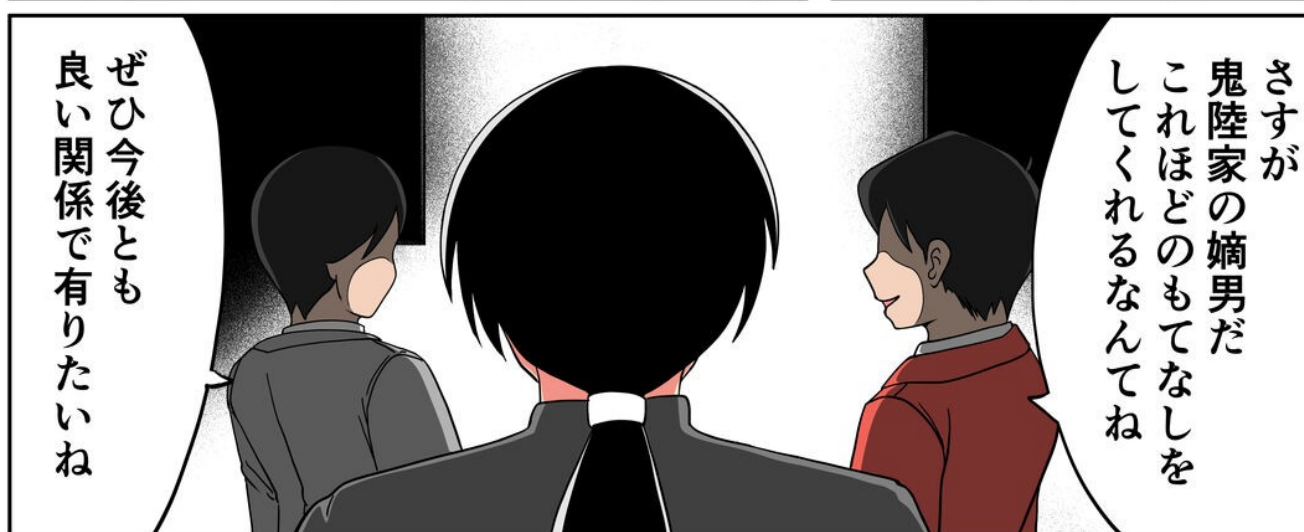


グニッ

グニッ

グニッ

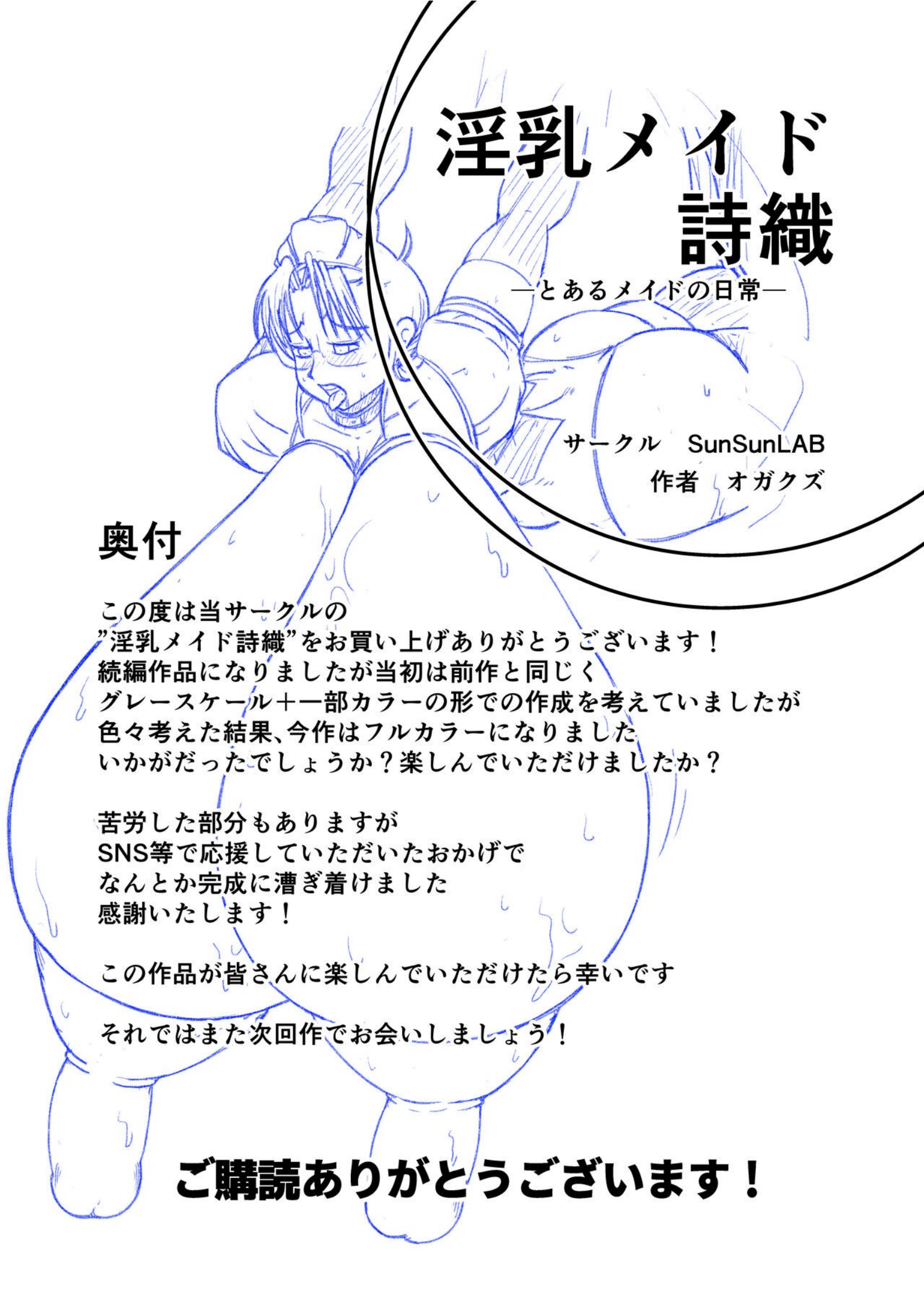
んあぁ





詩織…
お前は最高の
淫乳メイドだよ

FIN.



淫乳メイド 詩織

—とあるメイドの日常—

サークル SunSunLAB

作者 オガクズ

奥付

この度は当サークルの
”淫乳メイド詩織”をお買い上げありがとうございます！
続編作品になりましたが当初は前作と同じく
グレースケール＋一部カラーの形での作成を考えていましたが
色々考えた結果、今作はフルカラーになりました
いかがだったでしょうか？楽しんでいただけましたか？

苦勞した部分もありますが
SNS等で応援していただいたおかげで
なんとか完成に漕ぎ着けました
感謝いたします！

この作品が皆さんに楽しんでいただけたら幸いです

それではまた次回作でお会いしましょう！

ご購入ありがとうございます！







